

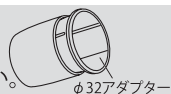
遮断機式手すり軸側面付ブラケット 施工説明書 BF-25

遮断機式手すり軸側面付けブラケットは、手すりを連続して取付けるための部品です。安全に使用して頂けるよう、またトラブルの無い確実な取付けをして頂くためにも、施工の際によくお読み頂き以下の事を必ずお守りください。

施工上の注意

- 当製品は室内用です。屋外および浴室には使用できません。
- 木製手すりと連続してご使用される場合は必ず35シリーズ・32シリーズのブラケットをご使用ください。

- φ35、φ32手すり兼用です。φ35をご使用の場合は、予め嵌め込んであるφ32アダプターを取りはずしてご使用ください。φ32をご使用の場合はφ32アダプター、スペーサーをご使用ください。



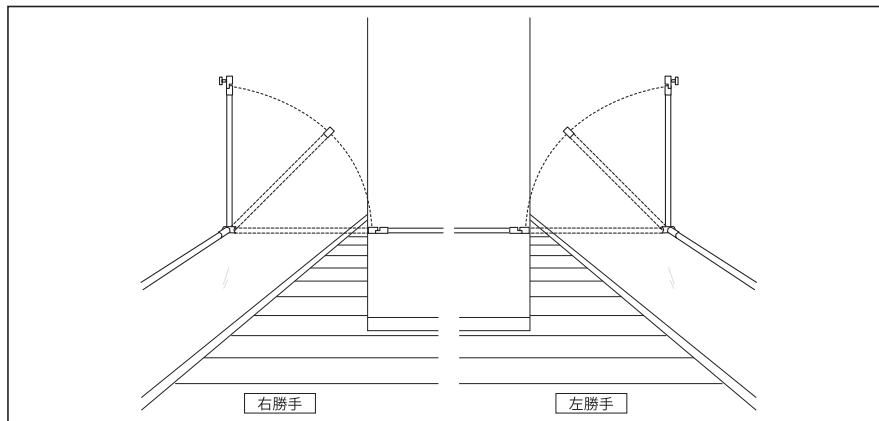
- ブラケットピッチは φ35の場合、900mm以内 φ32の場合、700mm以内 で取付けてください。
- 下地の無い場合は下地補強をしてください。
- ドアの錠前などが手すりに当たる場合は、壁にベースプレートを取付けて、ブラケットの出寸法を変えてください。
- 軸側ブラケット面付けは手すり棒が急落下しない回転の硬さに設定しているので、取付け時に回転させる場合には両側に手すり棒を差込んで回転させてください。
- 階段など傾斜部にはご使用になれません。



警告

!外開き扉部分に使用される場合は、閉じ込め事故等にご注意ください。
!この商品は手すり棒先端のキャッチソケットが受側ブラケットに確実にセットされている時に強度が保持されます。受側ブラケットにセットされた時には、毎回確実にセットされていることをご確認ください。
!この商品は、手すり棒を垂直にセットした(キャッチソケットをキャッチブラケットにセットした)状態で、縦手すりとしてご使用頂けます。
手すり棒先端のキャッチソケットがキャッチブラケットに確実にセットされている時に、強度が保持されます。キャッチブラケットにセットされた時には、毎回確実にセットされていることをご確認ください。
!受側ブラケット・キャッチブラケットから外された時に手前に引っ張るなどの力がかかると壊れる恐れがありますので絶対にしないでください。
!軸側ブラケット面付けに潤滑剤を塗布されますと作動不良の原因となりますので、絶対にしないでください。

遮断機式手すり軸側面付けブラケット 取付け勝手参考図



遮断機式手すり面付けブラケット[BF-25] 梱包部品図

1 受側ブラケット 左右兼用タイプ 六角穴付き M6ボルト ラッチソケット バネ座金 脚金具 ラッチソケットキャップ 図は左勝手	2 軸側ブラケット面付け 左右兼用タイプ 注視シール ※棒を差し込むと動きます。 ※し字に折り曲げた状態で梱包されています。 ※注意シールは施工後はがしてご使用ください。	3 キャッチソケット	4 エンドキャップ	5 φ32アダプター ※出荷時は受側ブラケット、軸側ブラケット面付け、キャッチソケットにセットされています。
6 スペーサー 厚さ 4mm	7 ブラケット取付けねじ ※取付けの際には壁にφ3程度の下穴を空けてください。 ⊕丸皿ｽﾀｯﾌﾟ ｼﾞﾝねじ3.5×40	8 手すり取付けねじ ※取付けの際にはφ3程度の下穴を空けてください。 ⊕丸皿ｽﾀｯﾌﾟ ｼﾞﾝねじ3.5×20	9 キャッチブラケット	

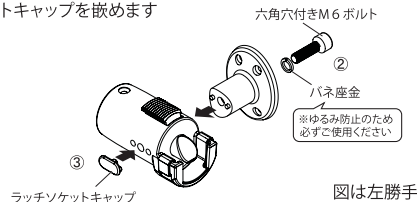
遮断機式手すり面付けブラケット[BF-25] 梱包部品一覧

番号	部品名	仕様	数量
1	受側ブラケット(ラッチソケット・脚金具)	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
	受側ブラケット(ラッチソケットキャップ)	POM	1個
2	軸側ブラケット面付け	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
3	キャッチソケット	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個
4	エンドキャップ	ABS	3個
5	φ32アダプター	ABS	4個
6	スペーサー	ABS	3個
7	ブラケット取付けねじ ⊕丸皿ｽﾀｯﾌﾟ ｼﾞﾝねじ3.5×40	鉄製	12本
8	手すり取付けねじ ⊕丸皿ｽﾀｯﾌﾟ ｼﾞﾝねじ3.5×20	鉄製	7本
9	キャッチブラケット(ラッチソケット・脚金具)	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1個

受側ブラケット 組立て手順

取付け勝手に合わせて受側ブラケットを組立ててください。
※対辺5の六角レンチをご用意ください。

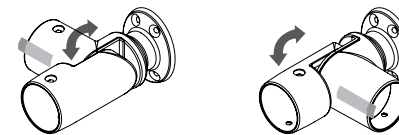
- ①左右勝手を決めます
- ②脚金具を六角穴付きM6ボルトで固定します
- ③ラッチソケットキャップを嵌めます



注意 六角穴付きM6ボルトは確実に締め込んでください。確実に締め込めていない場合、使用時ケガにつながる恐れがあります。

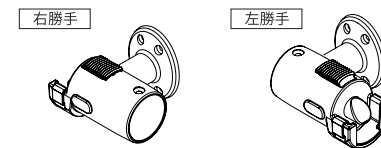
軸側ブラケット面付け 外観図

上下反転することで、左右勝手兼用できます。



受側ブラケット 外観図

脚金具を付替えることで、左右勝手兼用できます。

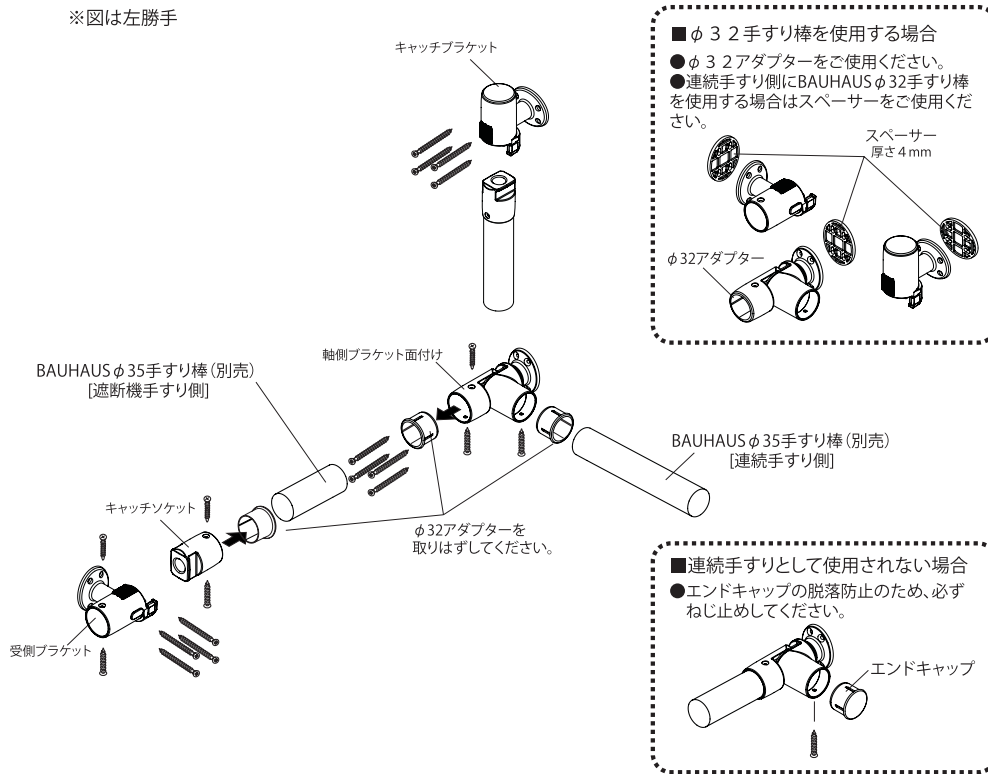


お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

施工手順

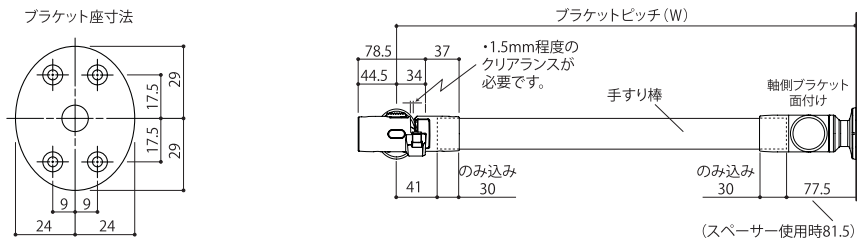
■ φ35手すり棒を取付ける場合

※図は左勝手



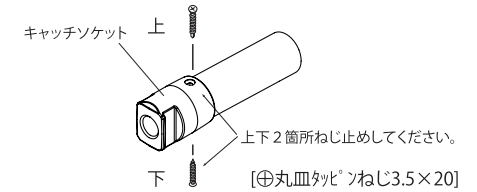
1. 軸の開閉勝手方向を確かめてください。
軸側ブラケット面付けと受側ブラケットを、同じ高さにお客様と位置を決め取付けてください。

2. 取付け部のブラケットピッチ(W)を測り、手すり棒をカットします。
手すり棒長さ: スペースを使用しない場合 W寸法 - 118.5mm
: スペースを使用する場合 W寸法 - 122.5mm

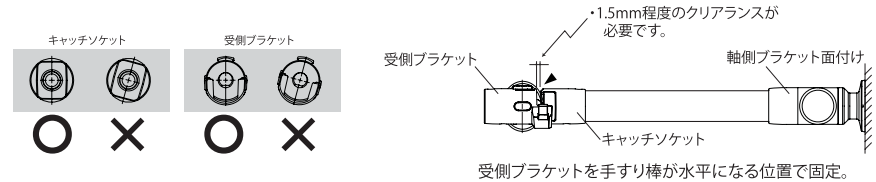


お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

3. カットした手すり棒に、キャッチソケットを差し込み、ねじ止めしてください。

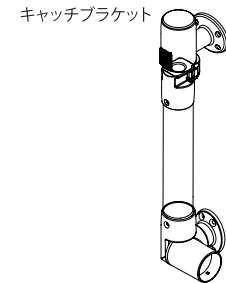


4. キャッチソケットを取付けた手すり棒を、軸側ブラケット面付けに差し込み、仮止めして作動確認し、ロックが掛かるか確認してください。確認後本締めしてください。
◎注) キャッチソケットと受側ブラケットは必ず垂直にセットしてください。斜めにセットするとラッチの噛み込みなどの誤動作の原因となります。



5. 手すり棒が垂直になる位置にキャッチブラケットを取付けてください。

- ◎手すり棒が垂直でロックされる位置にブラケットを固定します。
- ◎下地材があることをご確認ください。



6. 各部品がしっかり固定されているか、ロックが掛かるか、動作確認を行ってください。

お問い合わせ先